

横田飛行場へのC V-22オスプレイ配備に関する
横田基地周辺市町基地対策連絡会コメント

- 本日、外務省北米局 鈴木参事官及び防衛省北関東防衛局 渡邊局長が横田飛行場の所在する5市1町を訪問され、米国政府が、2021年（平成33年）までに、計10機のC V-22オスプレイを横田基地に配備し、そのうち最初の3機を2017年（平成29年）の後半に配備するとの説明を受けました。
- C V-22オスプレイについては、地元自治体や周辺住民に対する十分な説明責任を果たすことなく、横田飛行場への配備を行うことがないよう国や米軍に対し、再三にわたる要請を行ってきたにもかかわらず、このような突然の申し入れについては誠に遺憾であります。
- これまで、横田飛行場に関する共通の諸問題につきましては、横田飛行場の所在する5市1町で構成される横田基地周辺市町基地対策連絡会を設置し、連携して対応してまいりました。
- このため、この度の横田飛行場へのC V-22オスプレイの配備に関する対応につきましても、今後、周辺市町と協議し、対応してまいりたいと考えております。
- いずれにいたしましても、詳細については、改めて説明に来ることであり、その説明を伺ってまいりたいと考えております。

平成27年5月12日

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長 清水 庄平

昭島市長 北川 穰一

福生市長 加藤 育男

武蔵村山市長 藤野 勝

羽村市長 並木 心

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

幹事 武蔵村山市長 藤野 勝